



海外の販路拡大を目指して

当社では少子高齢化や人口減少が進む中、海外への輸出に活路を見出したいと考えていました。昨年、パリで開催された食品見本市に参加したところ、隣のスペースがたまたま稲庭うどん小川さんになり、混雑した時には協力しながら活動しました。その後、小川さんから協議会へお誘いいただき、海外への販路拡大につながればと思いついて参加を決めたところ、同じ市内の石孫さんも協議会に参加していたことを知り驚きました。

単独では難しいことも異業種の加工食品会社が集まる協議会では各社の強みを共有しうえて互いに協力することができます。それぞれの商品を世界中に売り込んでいければと思います。



株式会社 木村酒造
田町二丁目1番11号 (☎73-3155)
よねやま たのゆき
代表取締役社長 米山 忠行



株式会社 稲庭うどん小川
稲庭町字大森沢144番地 (☎43-2803)

おがわ ひろかず
代表取締役社長 小川 博和
(秋田県加工食品輸出拡大協議会会長)
おがわ えりこ
専務取締役 小川 選子

お互いの強みを生かして世界にチャレンジ

海外で日本の食品が「健康食」として注目されるようになり、平成28年から輸出に取り組みました。石孫さんとは海外の展示会で一緒にすることが多く、昨年パリで開催された食品見本市で木村酒造の米山さんと一緒に活動した際には、通訳やバイヤーの紹介など助けをもらい、輸出における連携や協力の大切さを感じました。その後、他の展示会で複数の業者が連携して出展している団体を見かけ、協議会を立ち上げようと思っていました。

いろいろな縁があり県内の6社で発足し、3社は湯沢の企業です。お互い協力してたくさんの方にいいものを届け、湯沢を盛り上げてきたいと思っています。このような団体は東北地域では例が少なく、モデルケースになれるよう活動を進めていきます。

県内の会員事業所が製造販売する加工食品と、秋田県の魅力を合わせて発信し、海外輸出の拡大を目指して、県内の事業所6社(うち市内からは3社)で構成された「秋田県加工食品輸出拡大協議会」(2023年2月設立)。会長を務める株式会社稲庭うどん小川の稲庭博和代表取締役社長をはじめ、市内3社の皆さんに参加の経緯などを伺いました。

ゆざわのまち・ひと・しごと



秋田県加工食品輸出拡大協議会



6月1日、秋田県庁本庁舎で行われた発足式の様子

- 会員事業所
- 株式会社稲庭うどん小川
 - 株式会社大湯村あきたこまち生産者協会
 - 株式会社花善
 - 株式会社木村酒造
 - 有限会社石孫本店
 - 有限会社まこと農産

6社が協力し、海外の食品展示会などに共同出展することで扱う商品の幅を広げ、輸出拡大を目指す。今後は、海外バイヤーの招へいやフランスでの試食会なども予定している。

【活動内容】

- ▷海外展示会出展
- ▷海外イベントの開催
- ▷海外バイヤーの招へい
- ▷販路拡大

湯沢の「おいしい」魅力を世界に発信

平成28年から海外の展示会に参加し、輸出事業に取り組んできました。海外は添加物に厳しく、その点味噌・醤油は輸出に適しているものの、製品を作ることに精いっぱい自社のみでの活動に限界を感じることもありました。海外の展示会ではたびたび小川さんと一緒に同じ市内の企業として心強く思っていたところ、協議会へ誘っていただき、参加を決めました。

海外の展示会では自社の製品だけでなく他の食品や特産品を求められることが多く、自社以外の商品を同時に紹介できることはさまざまなメリットがあると感じます。

湯沢で製造された味噌・うどん・お酒と一緒にPRすることで湯沢のインパウンド観光にもつながることを期待しています。



有限会社 石孫本店
岩崎字岩崎162番地 (☎73-2901)
いしかわ かな
代表取締役専務 石川 果奈

